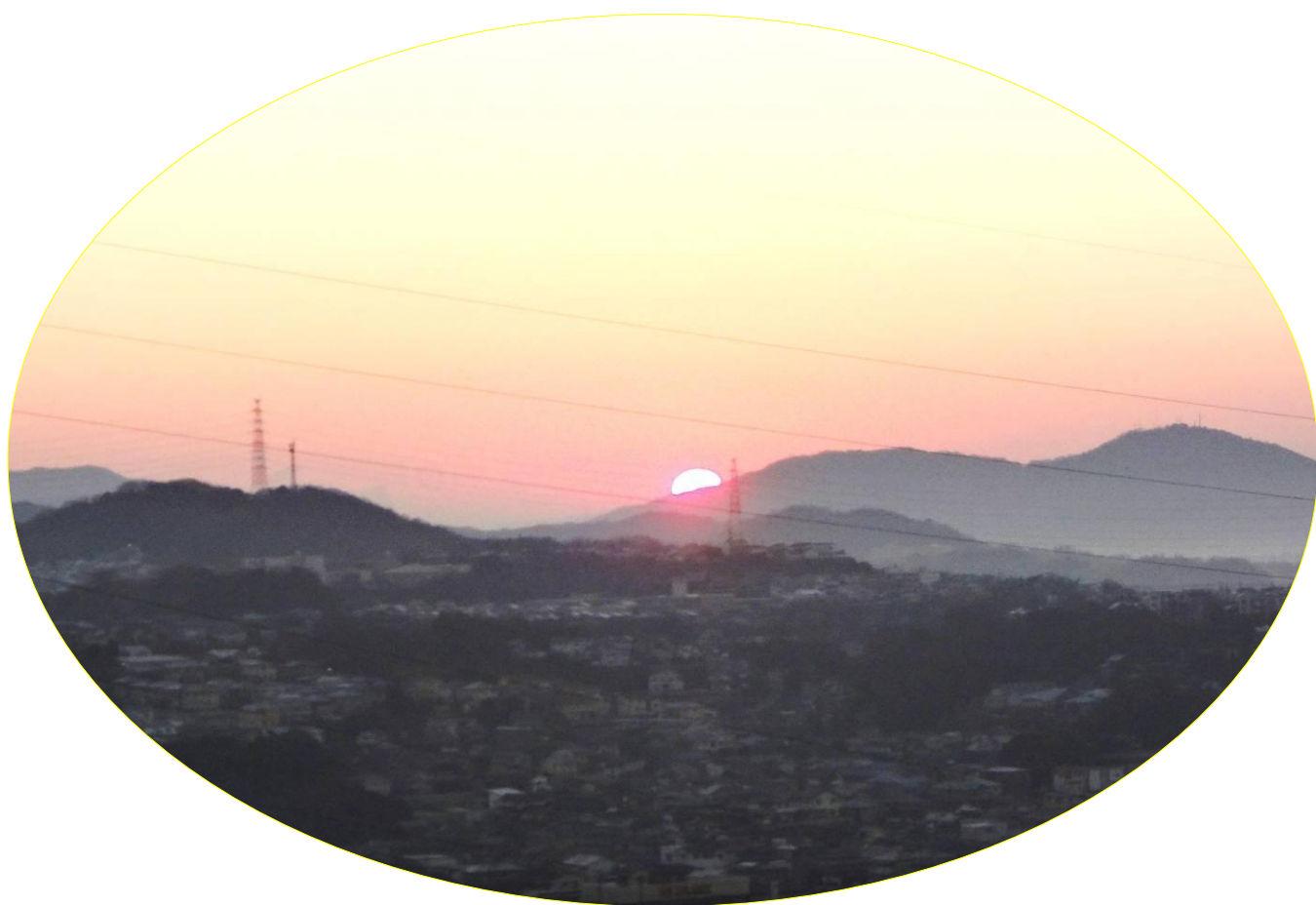


# 日吉台学区 まちづくり計画

みんなで作る

「住んで良かった日吉台，住み続けたい…日吉台」



日吉台学区まちづくり推進委員会

## はじめに

全国的に少子高齢化が急速に進むなか、福山市においても、今後これまでと同様の市民サービスを継続して受けることは困難な状況にあります。そうした中において、私たちは「ずっと住み続けたい」「住み続けることができる」と思える地域社会を期待します。

福山市は、2016（平成28）年に市制施行100周年を迎えるにあたり、各学区で持続可能なまちづくりの行動計画をすすめるよう求めています。

そこで、日吉台学区まちづくり推進委員会は、住民の「私たちのまちがこうなったらいいな」や「このままではいけないな」などの思いに添えるよう、行政と協働で取り組んでまいります。

アンケート調査や住民学習会等のあらゆる機会に、地域住民のみなさんから思いや願いを伺いました。寄せられた様々な声を真摯に受け止め、活動の現状を整理し、将来に向けて課題を解決していく行動を「日吉台学区まちづくり計画」として取りまとめました。



2014（平成26）年6月 日吉台くらぶ（休園中の日吉台幼稚園）に住民と行政で造成したばら花壇

# も く じ

1	日吉台学区の概要	1
	(1) 学区について	1
	(2) 世帯数・人口（年齢別）の推移	1
2	住民の声	2
	(1) アンケート調査による「住民意識」	2
	(2) 話し合いによる「住民の思いや意見」	3
3	まちづくりの基本的な考え方	4
	(1) 推進体制	4
	(2) 部会の取り組み	4
	(3) 基本姿勢	4
4	現状と将来に向けて	5
	(1) 学区の将来に向けたまちづくりの目標と活動の柱	5
	(2) 日吉台学区まちづくり計画策定	5
	①継続事業（現在実施している活動・事業）	6
	②計画推進事業	7
	—計画策定に係る資料—	9
	資料1 計画策定までの経過	9
	資料2 日吉台学区まちづくり推進委員会事業・組織図	10
	資料3 まちづくり計画策定に係る推進委員・策定委員, 協力者・団体・機関	11
	あとながき	12

日吉台音頭  
活動風景

# 1 日吉台学区の概要

## (1) 学区について

春日町浦上の一部と吉田の北西部及び蔵王町の北東部を取り込んだ、日吉台土地区画整理事業の造成等によって誕生した学区です。

かつては静かな農業地域が、高度成長期とともに南に広がる平地と北に連なる山との斜面を区画整理し、造成が進み福山市の発展とともに多くの人々が全国各地より移り住んできました。

山陽自動車道を挟んだ南北に延びる住宅地は、平地・山の斜面・かなり傾斜のある土地で地理的な特色があります。

1981(昭和56)年4月6日、日吉台小学校の開校式が挙行され、新しく日吉台学区となった5町内会(吉田・小松・日吉台・日吉台団地・蔵王12区)は1981(昭和56)年5月23日、吉田会館に於いて、日吉台学区町内会連合会を誕生させました。各町内会の自治活動について連絡協議し、学区民相互の親睦と福祉増進を図ることを目的に結成された町内会連合会は、今年35周年を迎えました。

## (2) 世帯数・人口(年齢別)の推移

	世帯数	人口計	0歳～ 14歳	15歳～ 64歳	65歳以上
2001(平成13)年3月末日	2,576	7,258	1,483	5,050	725
2005(平成17)年3月末日	2,830	7,568	1,491	5,200	877
2010(平成22)年3月末日	3,032	7,546	1,301	5,046	1,199
2015(平成27)年3月末日	3,121	7,407	1,107	4,651	1,649

【人口】2013年から外国人住民の人口が加算されています。なお、2012年までは外国人登録を含みません。

【世帯数】2013年から外国人住民単独の世帯数が加算されています。なお、2012年までは外国人住民単独の世帯数は含みませんが、日本人住民と外国人住民との混合世帯数を含んでいます。

福山市情報管理課より引用

## 15年間の人口推移にみる考察

世帯数は緩やかに増えていますが人口はあまり変わっていません。しかし、14歳までの人口は減少し64歳までの人口も減少の方向にあります。65歳以上の人口は激増し、今後は少子高齢化がますます進むとみられます。



## 2 住民の声

### (1) アンケート調査による「住民意識」

地域まちづくり計画策定に向けて、アンケート調査をしました。

調査時期	調査対象	回答数
2015（平成27）年1月～2月	学区5町内会加入全世帯	969世帯
2015（平成27）年3月	日吉台小学校保護者	219世帯
2015（平成27）年5月	培遠中学校3年生（春日学区、緑丘学区含む）	140人

町内会を通じたアンケートや中学3年生は、70%以上の人からこれからは是非、できれば住み続けたいという希望がありました。

#### ①日吉台学区の住みやすいところと住みにくいところ

##### (ア) 住みやすいところ

- ・生活道路・水路が整備され買物など日常生活が便利、医療機関が充実している。
- ・子どもを育てる保育・教育設備が整っている。
- ・近所付き合いがしやすい。

##### (イ) 住みにくいところ

- ・高齢者や障がい者が暮らしにくい。
- ・買物等日常生活が不便、公共交通機関の便が少ない。
- ・自動車による事故が多い、防災・防犯の面で不安。

#### ②日吉台学区のまちづくり事業について

多くの住民が参加できる様々な行事があり、連帯感や活力等が感じられ、近所付き合いがしやすいという回答が多く寄せられています。まちづくり推進委員会または構成する団体の諸行事（文化祭、学区民運動会、各町内会の夏祭り等）へはほぼ90%の人が参加したことがある、ということから事業実施の成果は大きいとみられます。

#### ③日吉台学区の将来について

- ・子育て、高齢者や障がい者にやさしい福祉のまちづくり。
- ・災害に強く、犯罪の少ない安心・安全なまちづくり。
- ・生活環境（ゴミ問題・道路・水路・池等）を改善する。
- ・夏祭りなど各町内会で親睦を高める。
- ・健康づくりの推進。

中学生からは、人権を大切に作るまちづくりという記載もありました。小学校の保護者は、学校や地域が子どもたちに対して、感性や個性を伸ばす取り組みに力を入れるべき、地域に安心して登下校できる通学路の見守りを期待する声も多くありました。

## (2) 話し合いによる「住民の思いや意見」

2014（平成26）年度の地域別住民学習会では、各町内会で次のような思いや意見が出されました。地域の高齢化に伴う課題と、コミュニティづくりの強化を望む声が多くありました。（抜粋）

### ① 課題と思うこと

- ・坂道が多く自転車事故が心配、交通の面で危険箇所が多い。
- ・子どもの遊べる場所が少ない。
- ・公共交通の便が少なく不便。
- ・不審者や土砂災害の時、一人暮らしになったら不安（何かと高齢期になると困る）。
- ・ゴミステーションの確保が難しい。
- ・役員をすることを含め高齢期になると学区の行事に負担を感じる。

…等多くの意見が出されました。

### ② 望ましい将来像

- ・「向こう三軒両隣」の関係が強いまち。
- ・防火・防犯のパトロールで安心・安全なまち。
- ・コミュニティの場として集会所を利用した、世代間交流ができるまち。

まちづくり推進委員会は、住民の声を参考に各部会の取り組みについて話し合いました。



安心・安全部会



コミュニティ・環境部会



福祉部会



総務部会



地域交流部会

### 3 まちづくりの基本的な考え方

#### (1) 推進体制

まちづくり推進委員会は、地域課題の解決に向けた取り組みを進めていく組織です。

町内会をはじめ各種団体等で構成し、部会（安心・安全、福祉等）を設置し連携しながら活動しています。

#### (2) 部会の取り組み

委員会は、5部会の構成で目的に向けた活動をしています。

部会名	取り組み
福祉部	学区の福祉にかかわる活動
安心・安全部	学区民の安全を守る活動
地域交流部	地域の活性化に向けた活動
コミュニティ・環境部	各町内会等コミュニティの育成と環境改善
総務部	まちづくり事業の事務及び各種啓発事業

#### (3) 基本姿勢

委員会の果たす役割は、次の4点があります。

##### ①情報の共有

地域の目標や課題の解決、活性化のために取り組まなければならないことは委員会を通じて各種団体で共有する。

##### ②人材育成の場として

次代を担う人材を育成するため、委員会が実施する事業を通じて、自分たちの地域についての関心を高め、まちづくりの必要性について理解を深め多様な関わりを持つ。

##### ③各種団体の協力・連携の場として

事業への協力者や参加者を増やし、学区内の各種団体の活動状況を把握しながら、横の連携が図れるようにする。

##### ④活動の評価・改善の場として

活動の成果・課題を共有し整理し、新たな発見や見直しを通して次年度に向けた改善につなげていく。



## 4 現状と将来に向けて

### (1) 学区の将来に向けたまちづくりの目標と活動の柱

アンケートや地域住民の声をもとに、学区の将来に向けてまちづくりの方向性を示す計画になるよう、計画策定委員会を立ち上げ、さらに各部会、役員会において話し合いを重ねました。

そして、地域住民の声を反映した目標と、活動の柱を次の通り決めました。

#### <目標>

#### みんなで作る

### 「住んで良かった日吉台、住み続けたい…日吉台」

#### <活動の柱>

福祉にかかわる活動について

子ども、高齢者、障がい者が住みよいと思えるまちづくり

学区民の安全を守る活動について

住民が安心・安全と思えるまちづくり

地域の活性化に向けた活動について

学区民のふれあいと文化・文明の継承発展・保存、健康を増進するまちづくり

コミュニティの育成と環境改善について

学区民の絆づくりと町の美観に努めるまちづくり

各種啓発活動の取り組みについて

誰もが大切にされ、少子高齢化に対応するまちづくり

### (2) 日吉台学区まちづくり計画策定

各部会は、これまでの活動を確認し、目標に向けてすでに活動している内容を継続事業（別表①）とし、将来に向けて新たに取り組む内容については、計画推進事業（別表②）として整理しました。

日吉台学区は、継続事業と計画推進事業を組み合わせ「地域まちづくり計画」の策定とし、2016（平成28）年度から、年度ごとに組み合わせと見直しを図っていきます。





(別表①)

①継続事業（現在実施している活動・事業）

項目	事業	事業内容
福祉にかかわる活動	子育て支援	・ 親子が気軽に集まり交流できる、福祉を高める会の「おもちゃサロン」活動
	高齢者支援	・ 福祉を高める会主催による「いきいきサロン」や「より道サロン」活動と福祉の取り組みを伝える「福祉だより」の発行
		・ 高齢者の居場所づくり事業の取り組み 日吉台くらぶにおいて「サロン」活動 食事を提供する珈琲サロン「憩い」運営 ・ 通院・買物・地域の諸行事に送迎するおでかけ支援事業の実施
	障がい者支援	・ 民生委員・児童委員による行政機関との連携
地域支援	・ 老人クラブによる地域支援活動	
	・ ボランティアの会による地域福祉活動	
学区民の安全を守る活動	子どもが安心して通学できる環境づくり	・ 朝の通学路の交通指導
		・ 入学前の児童対象の通学路体験
	子どもの見守り体制	・ 「110番の家」設置による安心・安全の推進
		・ 夏休みの夕方や夜間パトロール ・ 土曜チャレンジ（学校完全週5日制対策）による児童・生徒の健全育成と豊かな感性を育てる取り組み
防犯について	・ 防犯組合による「ぼうはんだより」の発行や研修会	
	・ 看板作成・設置による啓発 ・ 地域安全パトロール	
防災について	・ 自主防災協議会を組織し、実際の災害を想定した訓練や防災器具や道具の保管及び土嚢の再点検	
	・ 災害時の避難行動要支援者の把握・危険箇所の把握	
地域の活性化に向けた活動	文化の継承と文明保存	・ 学区民の交流の場となる文化祭の開催 ・ はね踊りの継承 ・ 学区住民が集う機会に「日吉台音頭」の普及
	学区民の健康増進とふれあい	・ 学区民運動会や歩け歩け運動、各種スポーツ教室及び大会の実施
	地域住民のふれあいと子どもたちのふるさとづくり	・ 町内会主催の夏祭りの開催
育成と環境改善のコミュニティについて	コミュニティづくりや町の美観を守る取り組み	・ 夏祭りや町内一斉清掃など諸行事の実施 ・ 各町内会公園の清掃・整備（ばら花壇含む） ・ ごみのポイ捨て、犬・猫の糞尿の始末等の啓発チラシの配布や看板の設置 ・ ごみステーションの維持、管理
	日吉台くらぶの運営（*1）	・ 学区のコミュニティの場として管理、運営 ・ 園庭に造成したばら花壇の整備
各種啓発活動	市政のしくみについて	・ 公民館において情報発信
	人権啓発活動について	・ 誰もが「住み良い」と思えるまちづくりに向けた地域別住民学習会や団体別学習会 ・ 子どもが人権の大切さにつながる「夕暮れ納涼シアター」の開催 ・ 登録型本人通知制度のしくみなどの啓発
	まちづくりの発信	・ 「まちづくりだより」の発行

※上記事業は、推進委員会の諸団体が、各部会の取り組みに沿った活動で、今後も継続していきます。  
※（\*1）日吉台くらぶは、休園中の日吉台幼稚園を福山市から借用中の施設。

(別表②)

②計画推進事業

項目	事業	事業の展開(目標)	役割分担		目標達成時期		
			学区	行政	短期 1～ 3年	中期 3～ 5年	長期 5年 以上
福祉にかかわる活動	高齢者支援	・ 「より道サロン」や高齢者の居場所づくり事業の「サロン」を各町内会の集会所における開設に向けた組織整備	○		→ ○		
	障がい者支援	・ 障がい者支援のあり方の検討と取り組み	○	○	→ ○		
	老人クラブ活性化	・ 老人クラブへの加入促進と単位支部の拡大	○		→ ○		
	ボランティアの組織的活動	・ 地域支援及びまちづくりに関わるボランティアの募集	○		○		
学区民の安全を守る活動	交通ルールやマナーを守る啓発	・ 子どもたちの登下校時の見守り	○	○	→ ○		
		・ 自転車の正しい乗り方指導	○	○	○		
	交通・防犯・災害時に予想される危険箇所の点検と対策	・ 学区内を歩いて(フィールドワーク)危険箇所の点検と対策	○		→ ○		
		・ 危険箇所によっては行政機関と連携して対応する	○	○	→ ○		
	実践に結びつく防災対策	・ 災害マニュアルの配布	○	○	○		
		・ 災害時の対応の具体化と避難行動要支援者を支援する実践的な取り組み	○	○	→ ○		
地域の活性化に向けた活動	文化の継承と文明保存	・ 小学校の教室を資料館として活用	○	○	→ ○		
		・ 注連縄作り等地域の文化・文明など歴史の伝承	○		→ ○		
	学区民の健康増進とふれあい	・ 運動会は、学区住民の高齢化に伴い種目について考慮	○		○		
		・ 各種スポーツ大会は他の大会と重ならないよう日程を調整	○		○		
	地域住民のふれあいと子どもたちのふるさとづくり	・ 学区全体での夏祭り実施に向けて検討	○		→ ○		



項目	事業	事業の展開(目標)	役割分担		目標達成時期		
			学区	行政	短期 1～ 3年	中期 3～ 5年	長期 5年 以上
コミュニティの育成と環境改善について	町の美観を守る取り組み	・ 半田池池畔の整備とばら花壇の設置(日吉台団地西公園奥)	○	○	○		
		・ 山の法面の整備		○	→ ○		
	ごみステーションの管理・運営と地域の支え合い	・ ごみステーションの有効活用(ごみのポイ捨て、犬・猫の糞尿の始末等各種啓発の掲示場所として)	○	○	○		
		・ 地域の高齢化に向けてごみ出し支援体制づくり	○	○	→ ○		
	日吉台くらすの運営	・ くらすを拠点に資源回収の取り組みや子どもたちとの世代間交流の場づくり	○	○	→	○	
町内会加入促進	・ 未加入世帯への加入促進 ・ 高齢化に伴う脱会世帯を防ぐ取り組み ・ 役員体制の見直し	○	○	→ ○			
学区住民の少年高年齢化に伴う対応 各種啓発活動・	市政のしくみの理解を進める活動	・ 選挙啓発やマイナンバー制度等の学習会の開催	○	○	○		
	次代を担う子どもへの地域支援	・ 子ども会育成協議会への加入促進と保護者研修	○	○	→	○	
		・ PTA活動の充実と発展を図る研修	○	○	→	○	
	人権啓発活動	・ 誰もが大切にされる地域社会をめざす事業の取り組み	○	○	→ ○		
	地域の高齢化に向けた対応	・ 老人クラブへの加入促進 ・ 高齢者増に伴う敬老会の有り様の検討	○	○	→ ○		
	町内会運営にかかる支援	・ 町内会未加入世帯への対応策の検討	○	○	→ ○		
・ 町内会加入促進対応策として、学区の様子が見える日吉台学区ガイドブックの作成		○	○	○			

※役割分担：学区と行政に○印は協働で実施

※目標達成時期( → )：まちづくり計画に伴う事業開始後

目安として短期(1～3年)・中期(3～5年)・長期(5年以上)



—計画策定に係る資料—

資料1 計画策定までの経過

年		会議等	会議等内容
月	日		
2013 (平成25) 年			
4	30	2013年度総会	地域まちづくり計画策定に向けて合意
5	29	推進委員会	東部管内他学区の情報収集
9	4	推進委員会	計画策定について協議
12	4	研修会	「さらに一歩進めた日吉台学区のまちづくりを図るために」策定の必要性
2014 (平成26) 年			
3	14	推進委員会役員会	地域のまちづくりをすすめる人材「志縁チーム」募集について (*1)
4	15	推進委員会役員会	「志縁チーム」による「まちづくりだより」の作成作業
4	21	2014年度総会	計画策定に向けて承認
7	3	役員研修会	「まちづくり第二次行動計画」に伴う策定の他学区の事例
7	28	部長会	計画策定に向けて「策定委員会」の設置について
8	18	推進委員会役員会	策定委員会設置の合意
9	1	第1回策定委員会	計画策定に向けて協議 スケジュール・地域住民の「声」を聴く手法・作業
11月4日 ～21日		地域別住民学習会	各町内会の住民学習会において話し合い 日吉台学区の現状、課題、将来に向けて
12	18	自主防災協議会 各町内会員 民生委員・児童委員	研修 災害について考える図上訓練をきっかけに危険箇所や避難行動要支援者について話し合い
12	22	第2回策定委員会	アンケートの取り組みについて、調査の内容精査
2015 (平成27) 年			
1	16	推進委員会役員会	アンケート調査の承認と今後のスケジュールについて
1月末		志縁チーム	アンケート印刷
2月～3月		学区住民	町内会を通して加入全世帯アンケート配布・回収
3	10	推進委員会役員会	アンケートの回収状況・集計・今後の作業について
3月		日吉台小PTA 公民館	日吉台小学校保護者対象のアンケートの取り組みと集計
4月(土・日)		在住行政職員会の会	地域住民対象のアンケートの集計作業(延べ20人)
4	10	推進委員会部長会	計画策定に向けてこれまでの作業確認
4	20	2015年度総会	計画策定に向けて取り組み経過を踏まえて合意
5月		培遠中学校	生徒3年生(春日学区、緑丘学区含む)対象のアンケートの取り組みと集計
7	6	第3回策定委員会	地域住民の「声」を活かす計画策定の方針
8月		各町内会	アンケートの協力のお礼と集計の報告(回覧)
9月		まちづくり5部会	地域住民の「声」をもとに各部会の活動の現状と今後に向けて(5部会開催)
11	9	推進委員会役員会	まちづくり計画策定方針決定
11月7～21		町内会	地域別住民学習会において進捗状況の説明
11	22	安心・安全部会 関係団体	学区内の危険箇所の点検(フィールドワーク) アンケートに記載の交通・防犯・自然災害時に想定する危険箇所の点検
11	28	コミュニティ・環境部会	計画策定に向けて協議 各部会の目的に向けた将来に向けた活動について
12	3	福祉部会	
12	21	地域交流部会	
2016 (平成28) 年			
1	29	総務部会	「日吉台学区まちづくり計画」(素案)検討
2	10	第4回策定委員会	「日吉台学区まちづくり計画」(素案)審議
2	22	推進委員会臨時役員総会	「日吉台学区まちづくり計画」策定承認

(\*1) 「まちづくり志縁<sup>しごん</sup>チーム」について

地域まちづくり計画策定に向け、地域活動の幅を広げる人材として、日吉台学区では各町内会から募集し、現在6名でまちづくりだよりの発行等の活動をしています。

資料3 まちづくり計画策定に係る推進委員役員・策定委員，協力者・団体・機関  
2015（平成27）年度 まちづくり推進委員会役員（◎策定委員）（敬称略）

役職名	名前	所属団体・機関	役職名	名前	所属団体・機関
委員長	◎岡峰信子	町内会連合会	参 与	◎高橋康之	町内会連合会
副委員長	◎藤井久夫	体 育 会	理 事	◎長倉 誠	〃
〃	◎藤井伸次	福祉を高める会	〃	◎佐藤清之	〃
〃	◎松岡茂雄	小学校PTA	〃	藤井保夫	〃
〃	◎亀山暢俊	在住行政職員の間	〃	七森俊博	〃
会 計	◎宮上正好	町内会連合会	〃	坂本 始	〃
書 記	細川恵子	〃	〃	片鍋千恵	〃
監 査	◎中野 孝	〃	〃	小畑美智子	〃
〃	◎羽原克房	在住行政職員の間	〃	桑田篤治	老人クラブ連合会
理 事	藤井敬一郎	小松町内会	〃	寺田美紀枝	女 性 部
〃	藤井伸次	吉田町内会	〃	江草光太郎	子ども育成協議会
〃	高田陽子	日吉台町内会	〃	馬原豊数	民生委員・児童委員
〃	萩原健二	日吉台団地町内会	〃	森近幸三	防 犯 組 合
〃	永田利昭	蔵王12区町内会	〃	其部圭司	青少年育成協議会
			〃	藤井三千恵	ボランティアの間
			〃	◎橋本正太郎	日吉台公民館

<協力者>

計画策定に向けて協議

2013（平成25）年度～2014（平成26）年度のまちづくり推進委員会の役員

◎坂本忠士 ◎安長悦子 三藤淳一 藤本育也 石井悦男 岸田直樹  
鈴木久美子 水田中人 藤井祐子 藤原佳緒理 坂本千枝子 山口光男  
赤木智子

まちづくりだより編集，アンケート印刷

志縁チーム

渡邊千裕 竹下恭子 加藤 哲 藤井祐子 片鍋千恵 小畑美智子

<協力団体>

アンケート調査，話し合い

小松町内会 吉田町内会 日吉台町内会 日吉台団地町内会 蔵王12区町内会  
日吉台小学校 日吉台小学校PTA 培遠中学校 培遠中学校3年生

アンケート集計

日吉台学区在住行政職員の間

日吉台公民館

◎宮林倫子 ◎小積容江

<行政支援>

福山市日吉台公民館

福山市東部支所東部地域振興課東部生涯学習センター

## あ と が き

「日吉台学区まちづくり計画」策定に向けて、  
皆様のご協力に感謝申し上げます。

各種団体は、これまでも様々な事業の計画、実施をしています。

そして多くの住民の皆様が参加されてきました。しかし学区の高齢化に伴い、「事業の運営はもちろん、参加も難しい」という声もあります。一方次代を担う子どもたちからは「地域行事を楽しみにしている」との声も寄せられています。

日吉台で育つ子どもたちが、巣立った時もふるさとと思ってもらえるよう、そして地域社会を取り巻く様々な変化にも「この町は安心」と思えるまちづくりは行政に頼るだけでなく地域住民の協力態勢が必要となります。

「負担」「忙しい」というご意見もありますが、「できる時にできる範囲」の参加や、関わり、関心を寄せる方の増加で「住んで良かった日吉台、住み続けたい…日吉台」になると思います。

アンケートの設問に「まちづくりを進めるには多くの人材が必要ですが、協力してもらえますか」に対して「要請があれば…」「手伝いくらいはしても良い」「参加くらいはする」と多くの方から心強い回答をいただきました。この地に住んだ「縁」を大切に、日吉台学区のまちづくりへのさらなるご理解とご協力をお願い致します。

アンケート等の貴重なご意見は可能な限り計画書に盛り込んでいますが、すべてのご意見を反映させることができなかつたことをご了承いただきたいと思ひます。

日吉台学区まちづくり推進委員会



# 日吉台音頭

作詞 日吉台学区町内会連合会2010役員一同  
作曲 後藤 喜直

一

さくら咲く 丘の上 並木道  
降りそそぐ 太陽の 暖かさ  
吉田沖 吹き抜ける そよ風と  
さわやかな あいさつで 笑顔だな  
家から家へ 人から人へ  
さあ ここで始めよう 日吉台

二

清く澄み 水光る 春日池  
すれ違つ 人々の 足軽く  
のびのびと おおらかな ひまわりと  
夕暮れに 染まりゆく 蔵王山  
心と心 君から君へ  
さあ ここで始めよう 日吉台

三

山々の もみじ色 鮮やかに  
秋の日を 彩った 文化祭  
おみこしや はね踊り とんどまで  
素晴らしい 伝統を 伝えたい  
家から家へ 人から人へ  
また ここで始めよう 日吉台

四

雪が舞つ 白い坂 お正月  
餅ついて 凧あがる 賑やかに  
子どもたち 飛び回り 温かい  
みな仲間 誇らしい ふるさとよ  
心と心 君から君へ  
また ここに集まろう 日吉台



## 日吉台音頭

日吉台音頭おどり・カラオケ 日吉台学区町内会連合会

作詞:日吉台学区町内会連合会2010役員一同  
作曲:後藤 喜直  
詞付:常盤 初江  
振り指導:常盤 初江  
企画:日吉台学区町内会連合会  
発行人:日吉台学区まちづくり推進委員会  
撮影・編集:橋本 茂輝



## 日吉台音頭は---

「ふるさとを大切に…」との願いで、2010（平成22）年度に生まれました。我が日吉台学区をイメージした歌詞と、軽快なリズムに併せた振り付けで夏祭りや文化祭、運動会等で踊られています。これからも継承していきましょう。

2016（平成 28）年 2 月 22 日  
日吉台学区まちづくり推進委員会